



# PHPでバイナリ変換 プログラミング

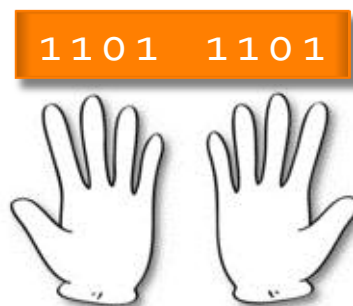
～ 前提知識から openpear/IO\_Bit の紹介、応用事例まで～  
“よや” <yoya@awm.jp>

# 自己紹介

+ 六本木の方でWeb関連の仕事をしています



+ バイナリ変換プログラミングが趣味です



神は人に  
2進数を  
与えたもう

# 発表題目

+ (pure) PHP で**バイナリ**変換プログラミング

+ ここで云う pure は PHP の**標準関数**だけという意味です

chr          substr          strrev          str\_pad  
strlen          ord          substr\_replace          strcmp

+ Web 開発に**飽きてきた**人向けの発表

+ 前半はバイナリのおさらいをします

。。ていうか PHP はホント楽です。~~JavaScript でのバイナリ処理に比べれば。~~。。

# 発表内容

- + バイナリについて
- + ビット(Bit)とバイト(Byte)について
- + PHP でバイト(Byte)処理
- + PHP でビット(Bit)処理
- + openpear/IO\_Bit パッケージの紹介
- + IO\_Bit の応用事例 (IO\_SWF, IO\_Zlib)



# バイナリについておさらい

- + バイナリって何？
  - + 本来は、コンピュータが処理し易い  $0,1$  の 2 進値データ
  - + 世間的には、**テキスト以外のデータ** (狭義のバイナリ)
    - + エディタで開いて文字化けするデータ



GIFファイル  
(php.gif)

A screenshot of a text editor window titled 'php.gif'. The window displays a corrupted GIF header and body. The text is garbled and includes characters like 'GIF89ax C Èj Ç|97G(%\*ÃÖ, °§À”’Á≤Y‘CBXÉ', 'ÜπÇÉ≥RRrêí~fñ™”-LKc[\É>fiĪ;8<nq•jmuaccu', 'y±{~μÃË•óúΔâç;πfÿkkíNNkqt@zzfâäΩrtf̄tsòé', 'êjZ[~,„Ô{}≠§•-mpçrv”iñ»°ÑÿtxÆÖâ°iivÿÿÍí', 'ífdfíknü•@Eiñ≈.+/SQh≥Y◊ljá\[väçøfhñhjóú', and 'ü»1.9Æ∞”úúÓUVxú° ñô≈ÁÇØgió?=P°æ/∧`áòò»á'. The status bar at the bottom shows 'Line: 1 Column: 1', 'Plain Text', and 'Tab Size:'.

```
GIF89ax C Èj Ç|97G(%*ÃÖ, °§À”’Á≤Y‘CBXÉ
• ÜπÇÉ≥RRrêí~fñ™”-LKc[\É>fiĪ;8<nq•jmuaccu
• y±{~μÃË•óúΔâç;πfÿkkíNNkqt@zzfâäΩrtf̄tsòé
• êjZ[~,„Ô{}≠§•-mpçrv”iñ»°ÑÿtxÆÖâ°iivÿÿÍí
• ífdfíknü•@Eiñ≈.+/SQh≥Y◊ljá\[väçøfhñhjóú
• ü»1.9Æ∞”úúÓUVxú° ñô≈ÁÇØgió?=P°æ/∧`áòò»á
```

# バイナリとテキスト

- + 1バイトで0~255の値を表現できるけど、テキストはその一部しか使わない。(日本語の話は棚に置きます)

0~0x19

0x20~0xf9

0x80~0xff



この辺りの  
値が化けて  
表示される

- + バイナリの方がより多くの情報を詰められる

# バイナリの実例

## + バイナリの種類

+ マルチメディア系ファイル (JPEG, PNG, MPEG, AVI...) 


+ 実行ファイル (exe, a.out, jar, ...) 

+ ネットワーク上の通信データ (TCP, ISDN, ...) 

+ 暗号化されたデータ (zip, gzip, ...) 

色々ありますネ！

# バイナリ処理の目的

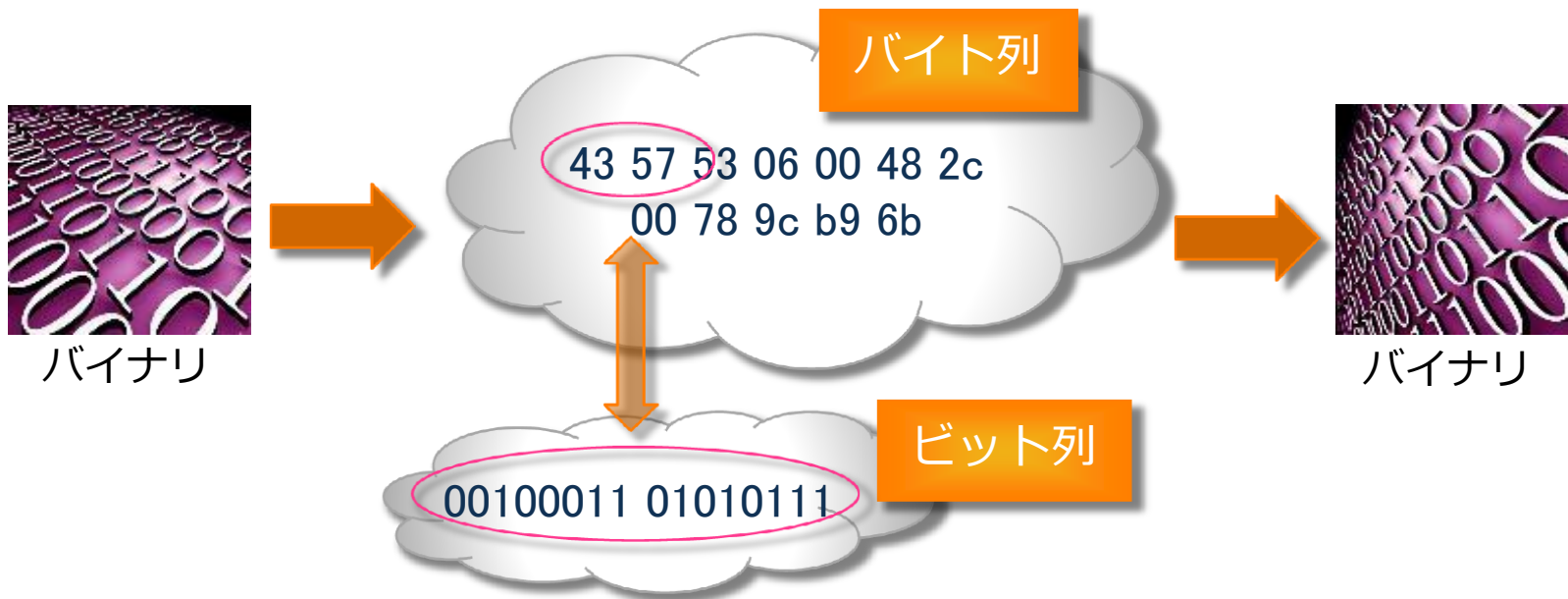
- + Web サービスではテキスト以外に画像/動画データや、場合によっては生の通信データを扱う事がある
- + それらのデータを独自に変換する事で
  - + より多くの種類のクライアント端末でサービスが受けられたり
- + 通信データ量を減らせたり 
- + エディタで開いて読めないから諦める。だと勿体ない





# ビット(Bit)とバイト(Byte)

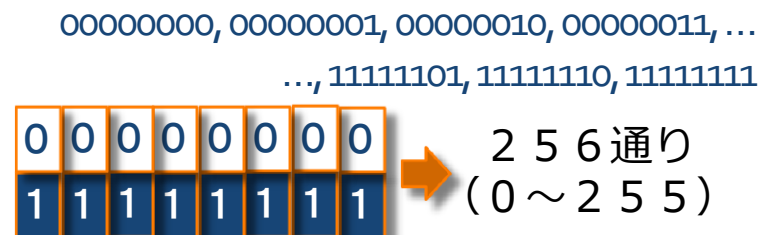
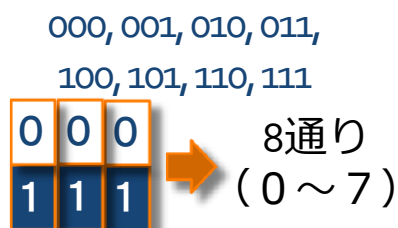
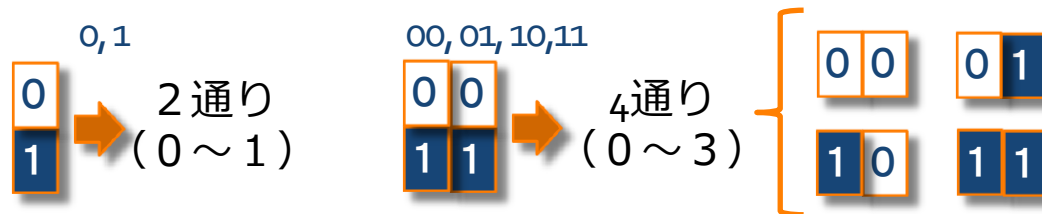
- + コンピュータの処理(入出力や編集等)する単位
- + バイナリ処理はこれらの単位でデータを操作する



# ビット(Bit) (おさらい)

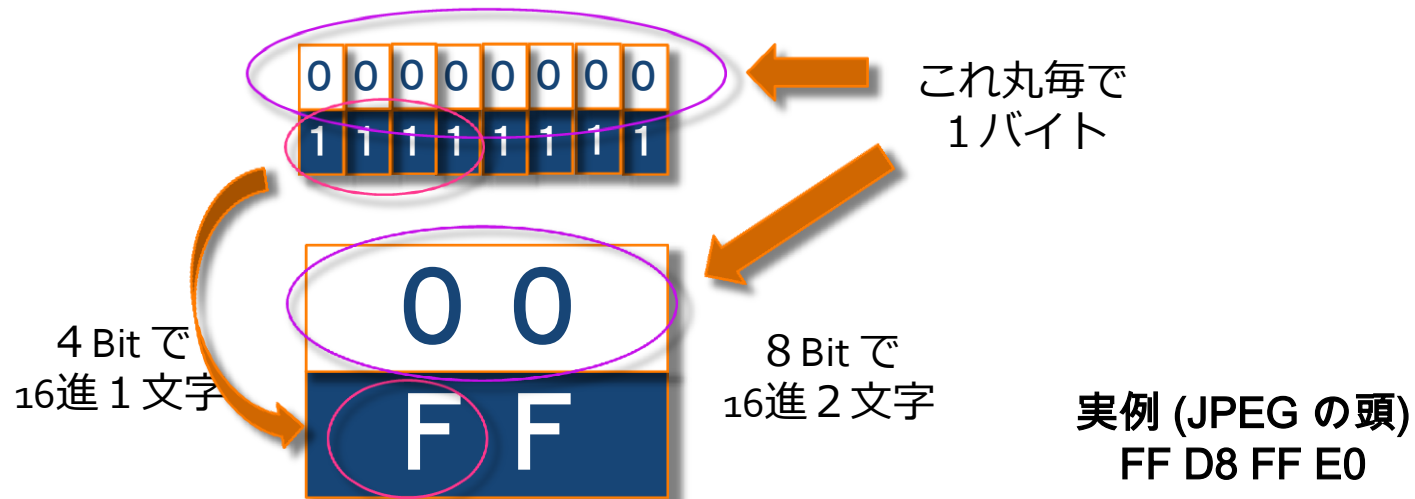
## + ビット(Bit)について

- + 0と1を用いて2通りの状態を表現したもの
- + ビットを並べると4通り8通りと表現の幅が広がる



# バイト(Byte)

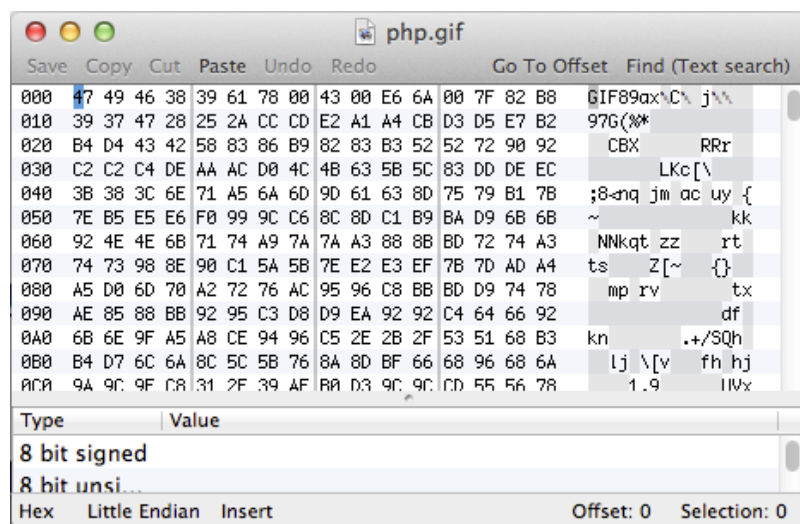
- + バイト(Byte)とは
  - + 本来は、(欧米の) **1文字**を表すのに必要なビットの集まり
  - + 狭義には**ビットを8つ**まとめた単位
  - + 16進数で表現する事が多い(バイナリエディタの表示)



# バイナリエディタを使う

## + バイナリエディタ諸々

+ Macintosh なら 0xED、Windows なら Stirling, Bz Editor



+ 手動で弄るのが面倒になったら PHP の出番です。

ここから本題



PHP

&

Byte

# PHP とバイナリと String型

- + PHP の String 型でバイナリ処理が出来る
  - + PHP は String 型に対し文字としての特別な事をしない

PHP における文字列型は、**バイトの配列と整数値(バッファ長)**で実装されています。バイト列を文字列に変換する方法については何の情報も持っておらず、完全にプログラマ任せとなっています。

- + <http://www.php.net/manual/ja/language.types.string.php#language.types.string.details>
- + 8bitスルー。 ¥ 0 終端もない ← この辺りの心配は無用
- + つまり、バイト(Byte)単位の処理は PHP でも簡単

# String 型でバイト処理

## + ファイル入出力

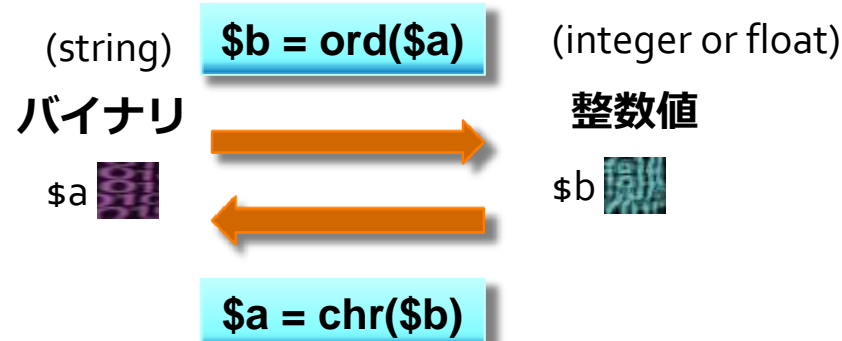


## + 連結と分解



# String 型でバイト処理 ord,chr

## + バイナリと整数値との相互変換



### 実行例

```
$a = 'Yoya';  
$b = ord($a[0]);  
echo $b;
```

実行結果   
⇒ 89  
= (0x59)

```
$b = 89; $c = 111;  
$a = chr($b).chr($c);  
echo $a;
```

実行結果  
⇒ Yo



# String 型でバイト処理 Endian

+ 2 バイト以上のバイナリと整数値の相互変換

+ Big Endian (MSB First)

バイナリ

x y

12 34



整数値

0x1234

$(x * 0x100) + y$   $0x1234 = 4660$

+ Little Endian (LSB first)

バイナリ

x y

12 34



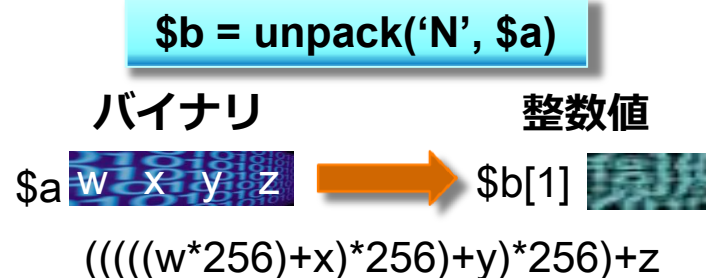
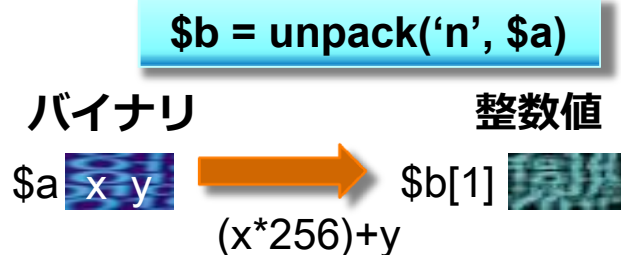
整数値

0x3412

$x + (0x100 * y)$   $0x3412 = 13330$

# String 型でバイト処理 BigEndian

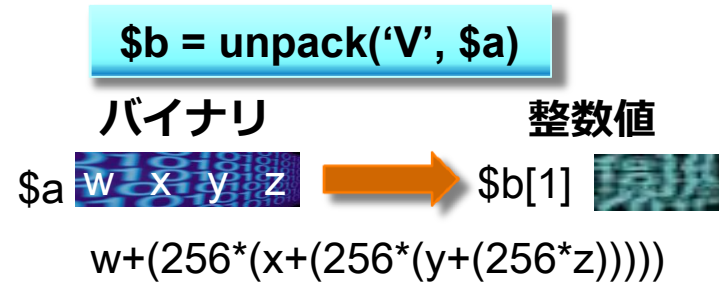
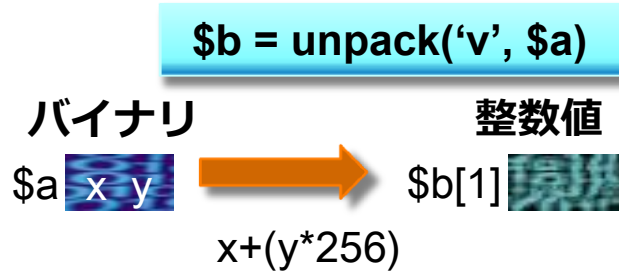
## + バイナリと整数値の相互変換 (Big Endian)



## + pack で逆変換

# String 型でバイト処理 LittleEndian

## + バイナリと整数値の相互変換 (Little Endian)



## + pack で逆変換

# バイト処理の注意点

## + \$a[0]

- + 文字列を配列のように参照すると、(\$aの0番目の数値でなく)、**0番目の文字を切り出したもの**が取得できる。

- + \$a[0] は substr(\$a, 0, 1) と同じ (C言語出身者は多分ココで躓く)

## + unpack('N', ... と 'V'の PHP bug

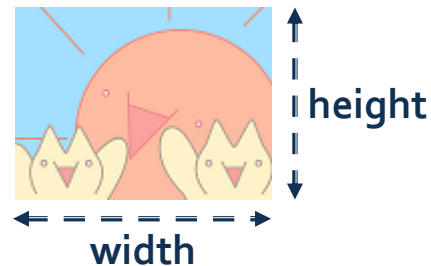
- + N, V は unsigned long (32ビット値)のはずだが、**実際は signed long(符号付き)の値**が出てくる

- + 負の値が出てきたら 4294967296 を足して補正

- + pack は**正でも負でも受理**してくれる。

# バイト処理の実例 JPEG分解

- + 例えば) JPEG 画像のサイズを抜き出す
  - + <http://www.w3.org/Graphics/JPEG/> ← 仕様はココ

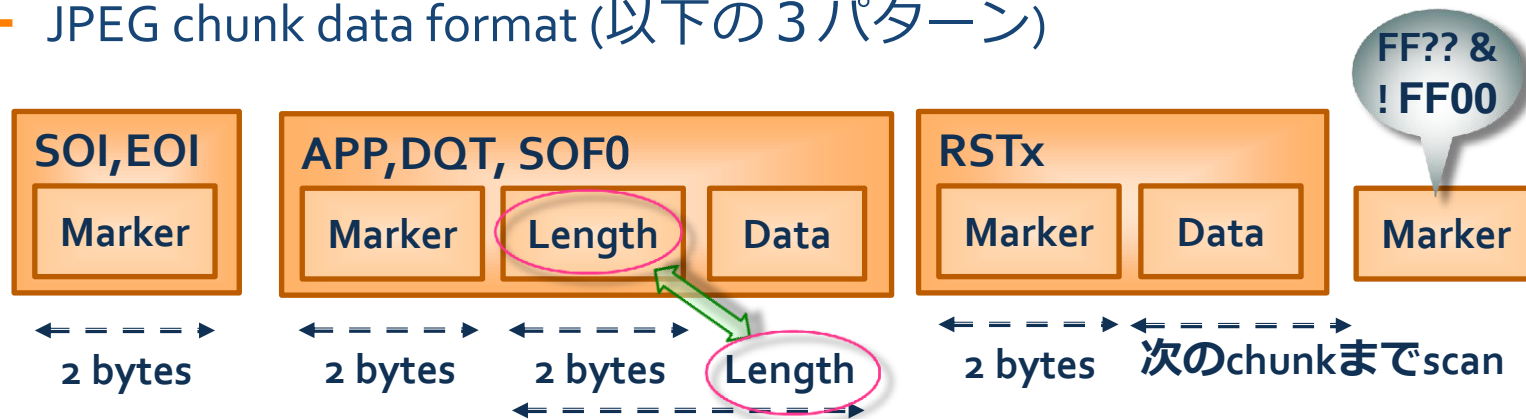


- + JPEG 情報要素

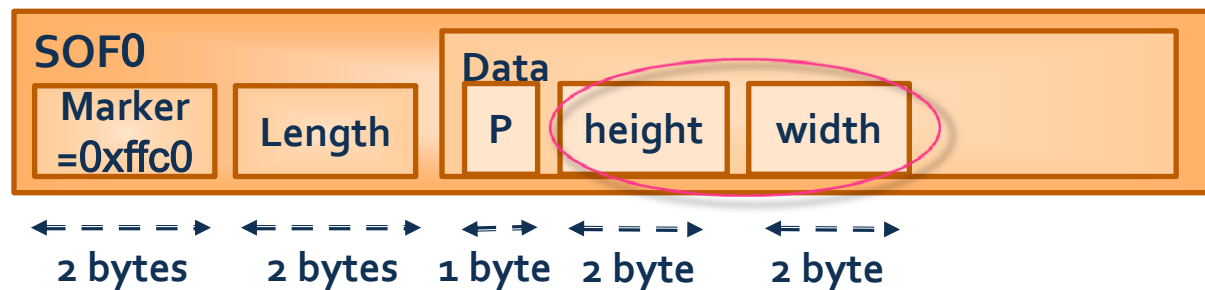


# バイト処理の実例 JPEG形式

+ JPEG chunk data format (以下の3パターン)



+ SOF0 の中身



# バイト処理の実例 JPEGサイズ

## + Code

Sample

## + これで、

width, height

が抽出できる

```
<?php
$data = file_get_contents($argv[1]); // JPEGfile input
for ($i = 1 ; $i < strlen($data) ; $i++) {
    switch(ord($data[$i++])) { // chunk marker
        case 0xD8: case 0xD9: // SOI (or EOI)
            break; // skip
        default:
            $len = unpack('n', substr($data, $i, 2));
            $i += $len[1];
            break; // skip
        case 0xC0: // SOF0
            $sof0 = unpack('CP/nH/nW', substr($data, $i + 2, 5));
            echo "width:{$sof0['W']} height:{$sof0['H']}\n";
            exit (0); // OK
    }
}
```

# バイト処理の実例 GIF, PNG (簡単)

+ ついでに

+ GIF の

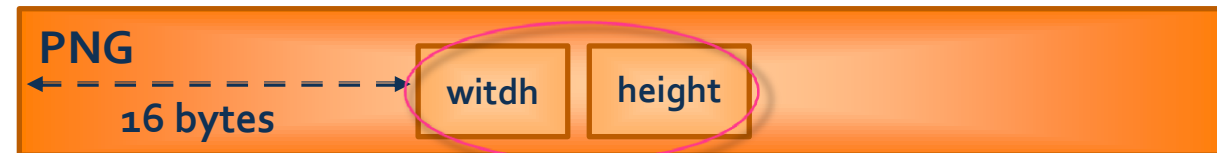
画像サイズ



```
<?php
$data = file_get_contents($argv[1]); // GIF file input
$size = unpack('vW/vH', substr($data, 6, 4));
echo "width:{$size['W']} heighth:{$size['H']}\n";
```

+ PNG の

画像サイズ



```
<?php
$data = file_get_contents($argv[1]); // PNG file input
$size = unpack('NW/NH', substr($data, 16, 4));
echo "width:{$size['W']} heighth:{$size['H']}\n";
```



# ここからビットの話



PHP

&

Bit

# PHP でビット処理

## + 論理演算を使ったビット取り出し処理

1 Byte  
\$a

0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1

&

(1 << 3)

0	0	0	0	1	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---

3つ

\$b

0	0	0	0	0	0	0	0
				1			

3つ

1 Bit  
\$c

0
1

```
$b = $a & (1 << 3);
```

```
$c = ($a & (1 << 3)) >> 3;
```

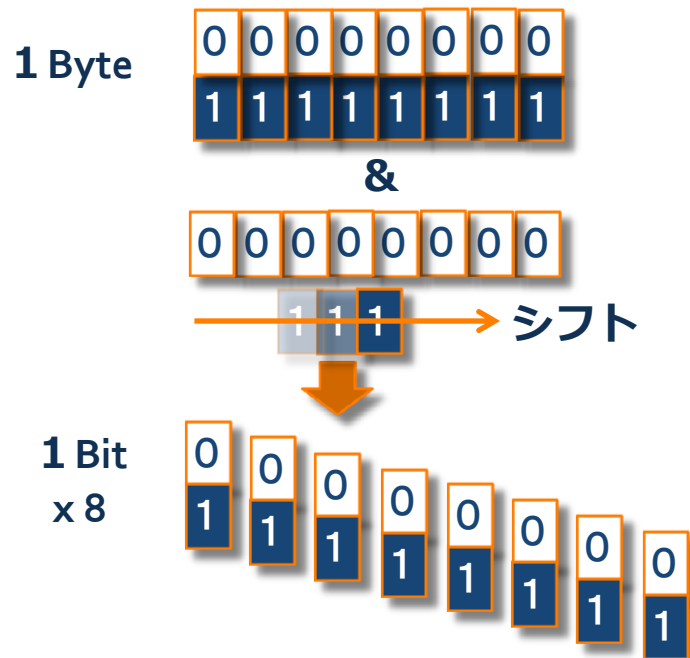
```
$c = $b >> 3;
```

3を一般化して  
\$nに

```
$c = ($a & (1 << $n)) >> $n;
```

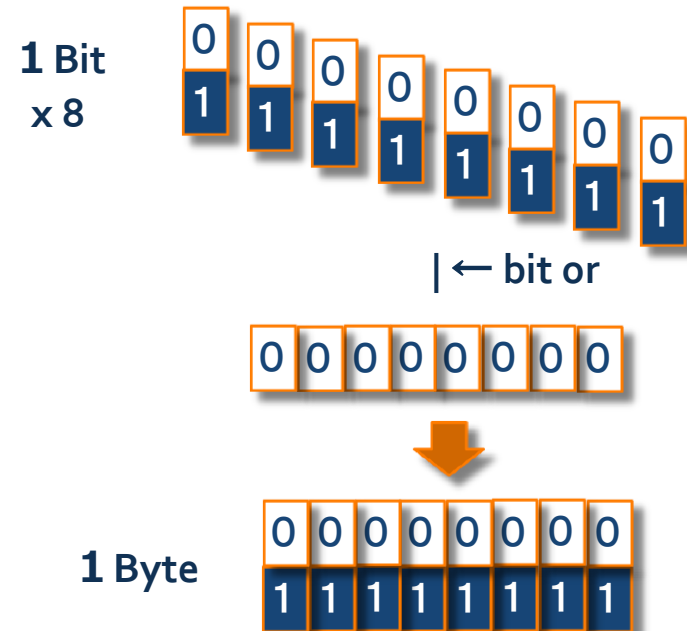
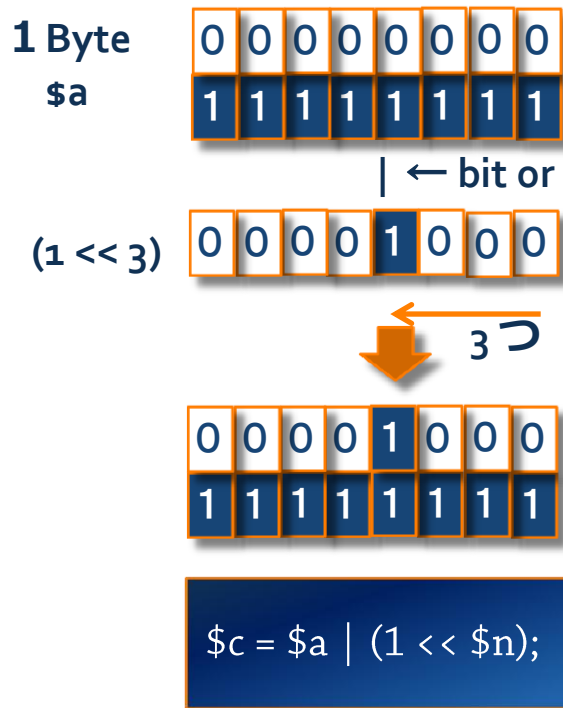
# PHP でビット読み出し (Read)

+ 頭から 1 Bit 毎に読み出し



# PHP でビット書き込み (Write)

+ Bit を連結して Byte を生成



# IO\_Bit の紹介

## + Openpear ~ IO\_Bit



+ [http://openpear.org/package/IO\\_Bit](http://openpear.org/package/IO_Bit)

ビット処理のユーティリティです。いちいち、pack v したり、incremental に offset を処理するのが面倒だという人向けです。利用に制限はかけません。コピーも改変もご自由にどうぞ。MIT ライセンスにしました。

# IO\_Bit の使い方

## + Byte 入出力

```
$binary = file_get_contents($argv[1]);  
$bit = new IO_Bit();  
$bit->input($binary);  
echo $bit->getUI8(); // get unsigned integer 8bit (=1 byte)  
// $bit->putUI8(0x37);  
// echo $bit-<output();
```

## + Bit 入出力

```
$binary = file_get_contents($argv[1]);  
$bit = new IO_Bit();  
$bit->input($binary);  
echo $bit->getUIBit(); // get unsigned integer bit (=1 bit)  
// $bit->putUIBit(1);  
// echo $bit-<output();
```

# IO\_Bit の応用例

- + openpear/IO\_SWF (この後で説明)
  - + Flash の実行ファイル(SWF)を編集

SWF

- + openpear/IO\_Zlib (時間があったら説明)
  - + Zlib 圧縮されたデータを伸長する



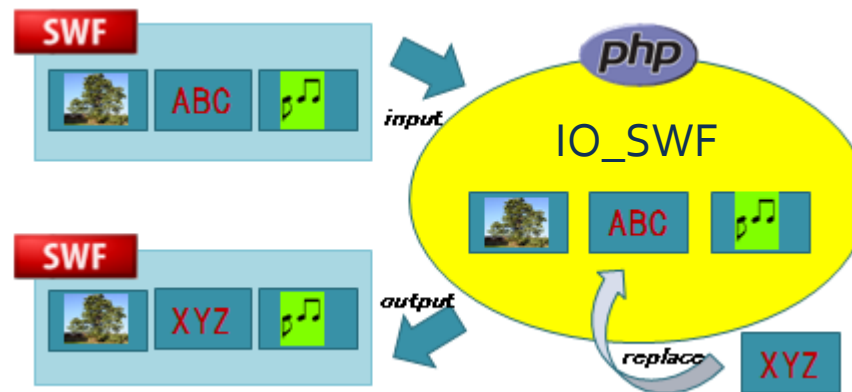
# IO\_SWF の紹介

## + Openpear ~ IO\_SWF

+ [http://openpear.org/package/IO\\_SWF](http://openpear.org/package/IO_SWF)



SWF バイナリを解釈/編集する為のライブラリです。IO\_Bit が必要です。主に Flash Lite 1.x/2.x を対象にしています。利用に制限はかけません。コピーも改変もご自由にどうぞ。MIT ライセンスにしました。





# IO\_SWF の使い方

## + 使い方

```
$swfed = new IO_SWF_Editor(); // インスタンス生成  
$swfed->parse($swfdata); // SWFバイナリ読み込み  
  
// 何らかの編集するメソッドを呼ぶ  
  
echo $swfed->build(); // 編集結果の SWF バイナリを出力
```

# IO\_SWF の利用例

## + SWF ファイルの解析

```
$swfdata = file_get_contents($argv[1]);  
$swfed = new IO_SWF_Editor();  
$swfed->parse($binary);  
$swfed->dump(array('hexdump' => true));
```

## + SWF 内コンテンツの入れ替え

```
list($prog_name, $swf_file, $bitmap_id, $bitmap_file) = $argv;  
$swf_data = file_get_contents($swf_file);  
$bitmap_data = file_get_contents($bitmap_file);  
$swfed = new IO_SWF_Editor();  
$swfed->parse($swf_data);  
$swfed->replaceBitmapData($bitmap_id, $bitmap_data);  
echo $swfed->build(); // 入れ替え後のSWF バイナリ出力
```

# IO\_SWF の実験デモ

+ 端末上で動作デモ

# IO\_Zlib の紹介

## + Openpear ~ IO\_Zlib



+ [http://openpear.org/package/IO\\_Zlib](http://openpear.org/package/IO_Zlib)

Zlib フォーマットの分解ルーチンです。  
Inflate(伸張)は動作しますが、deflate(圧縮)  
は btype:o (=無圧縮)のみ対応します。

# そもそも Zlib って？

- + データ圧縮アルゴリズムに Deflate というモノがあり、そのコンテナ形式
  - + Deflate の入れ物として有名なものに GZip と Zlib がある
  - + 詳しくはここにリンクまとめ
    - + → <http://pwiki.awm.jp/~yoya/?Deflate>
- + GZip は gzip コマンドで生成されるファイル形式
- + Gzip はファイル名やタイムスタンプが入れられるが、純粹に圧縮したい場合は、より簡略な Zlib 形式が用いられる。

# Zlib について

- + ハフマン符号と LZ77 を組み合わせた圧縮。
  - + ハフマン符号は符号の出現頻度に応じて、頻出する符号に短いビット列、稀な符号に長いビット列を割り当てる事でデータ量を減らす手法
  - + LZ77 は同じパターンがある時にはその繰り返しの長さを指定する事で、データ量を減らす手法
  - + 真面目に話すと一日かかるので、説明はココまで。
- + ハフマン符号はビット単位の処理が必要な符号化方式
- + IO\_Bit の出番！

# IO\_Zlib の使い方と動作デモ

## + 使い方

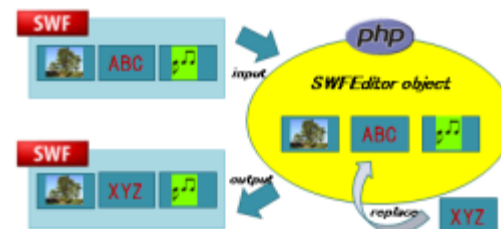
```
$zlib = new IO_Zlib(); // インスタンス生成  
$zlib->parse($zlibdata); // Zlib 圧縮データ読み込み  
  
// 何らかの編集するメソッドを呼ぶ  
  
echo $zlib->build(); // 伸長結果のデータを出力
```

## + 端末で動作デモ

# エクスキューズ

+ 実は、IO\_SWF は SWFEditor というPHP拡張に似た機能があります。

+ <http://sourceforge.jp/projects/swfed/>



+ 更に、IO\_Zlib は標準関数に gzuncompress があります。

+ <http://php.net/manual/ja/function.gzuncompress.php>

+ IO\_Zlib はあくまでサンプルという事で。



# 要望

- + 他の言語で、これに似た発表があれば教えてください。

以上

+ ご清聴ありがとうございました